

### 3 施策別主要事業概要

## 政策目標 1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>重点課題 1 子どもを生き育てやすい環境づくり</b>	
<b>施策 1 子育てと仕事などの両立支援</b>	
<b>ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業</b> 子) 子ども育成部 [88百万円]	ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を応援するため、認証制度を創設し、助成金や入札優遇制度を実施 ○認証取得企業数 H18：－ ⇒ H22：250社
<b>保育所待機児童対策事業</b> 子) 子育て支援部 [1,375百万円]	民間保育所の新設・増改築などにより、保育所の入所定員を拡充 ○保育所定員数 H18 (H19.4.1)：16,730人 ⇒ H22 (H23.4.1)：17,750人
<b>多様な保育サービスの充実</b> 子) 子育て支援部 [604百万円]	延長保育事業、一時保育事業、休日保育事業、乳幼児健康支援サービス事業の実施施設数を拡充 ○延長保育実施施設数 H18：146カ所 ⇒ H21：172カ所 ○一時保育実施施設数 H18：63カ所 ⇒ H21：83カ所 ○休日保育実施施設数 H18：1カ所 ⇒ H22：3カ所 ○乳幼児健康支援サービス実施施設数 H18：4カ所 ⇒ H19：5カ所
<b>ミニ児童会館の新設【再掲】</b> 子) 子ども育成部 [645百万円]	子どもの放課後などの居場所づくりを進めるため、ミニ児童会館を整備 ○ミニ児童会館数 H18：40館 ⇒ H22：70館
<b>施策 2 子どもと母親の健康支援</b>	
<b>妊婦一般健康診査の公費負担拡充</b> 保) 健康衛生部 [561百万円]	安全な出産と健康な子どもの出生のために実施している妊婦一般健康診査の公費負担を拡充 ○妊婦一般健康診査公費負担の利用回数 H18：1回 ⇒ H19：5回
<b>乳幼児医療費助成制度の拡充</b> 保) 健康衛生部 [975百万円]	乳幼児医療費助成制度について、小学校入学前の子どもの医療費を原則無料化 ○小学校就学前までの子どもの医療費を原則無料化 H18：4歳以上の課税世帯の通院医療費1割負担 ⇒ H20：就学前までの子どもの医療費を全て原則無料化
<b>生後4か月までの全戸訪問</b> 保) 健康衛生部 [95百万円]	正しい知識の普及、育児不安の軽減を図ることなどを目的に、妊産婦及び全出生児を対象に訪問指導を実施 ○新生児訪問実施率 H17：62.2% ⇒ H22：100%

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>施策3 地域での子育て支援の充実</b>	
<b>多様な子育てサロン事業の充実</b>  子) 子育て支援部 [18百万円]	地域主体の子育てサロン設置への支援や市役所庁舎、商業施設などの空きスペースを活用した子育てサロンを開設  ○子育てサロンが開催されている地域の割合（小学校区） H18：86% ⇒ H21：100%
<b>出前子育て相談事業</b>  子) 子育て支援部 [2百万円]	育児不安を抱え、家庭訪問を希望する子育て家庭に対して、保育士が自宅に直接出向き、相談・アドバイスを実施  ○出前相談実施区数 H18：－ ⇒ H20：10区
<b>区保育・子育て支援センター整備事業</b>  子) 子育て支援部 [29百万円]	従来の保育機能と子育て支援機能などを併せ持つ、区保育・子育て支援センターの整備を推進  ○区保育・子育て支援センター設置数 H18：3カ所 ⇒ H22：6カ所
<b>（仮称）市立認定こども園整備事業</b>  子) 子育て支援部 教) 学校教育部 [533百万円]	幼稚園と区保育・子育て支援センターを併設し、教育・保育の一体的な提供と子育て支援を行う、（仮称）市立認定こども園を整備  ○（仮称）市立認定こども園の開園 H18：－ ⇒ H21：開園
<b>企業・団体と連携した子育て支援事業</b>  子) 子育て支援部 [－]	企業・子育て団体・専門家などとの協力・連携により、様々な子育て関連事業を実施  ○企業との連携事業実施回数 H18：－ ⇒ H22：年5回 ○絵本寄贈数（累計） H18：－ ⇒ H22：1,000冊
<b>特定優良賃貸住宅を活用した子育て支援事業</b>  都) 市街地整備部 [－]	子育て世帯に対する経済的負担を軽減するため、家賃補助を拡大し、良質な賃貸住宅を提供  ○子育て世帯の入居戸数 H18：111世帯 ⇒ H22：221世帯
<b>重点課題2 未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実</b>	
<b>施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進</b>	
<b>生きいきと学ぶ力の育成事業</b>  教) 学校教育部 [－]	子どもたちの学ぶ力を育成することを目的とした実践研究の実施や成長段階に応じた体験活動の充実  ○中学校における職場体験の実施校率 H18：51% ⇒ H22：100%
<b>国際理解教育推進事業（外国語指導助手配置）</b>  教) 学校教育部 [126百万円]	生徒の外国語コミュニケーション能力育成と教職員の能力向上を目的として外国語指導助手（ALT）を配置  ○ALT配置人数 H18：43人 ⇒ H22：58人
<b>学校図書館地域開放事業</b>  教) 生涯学習部 [18百万円]	地域の教育力の向上と子どもの健全育成に役立てるため、学校図書館を地域に開放  ○学校図書館地域開放校数（小・中学校） H18：87校 ⇒ H22：99校

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>札幌市立大学大学院 設置支援事業</b>  市) 企画部 [ - ]	高度な専門職業人の養成や産業振興、地域貢献を目指す札幌市立大学のデザイン系と看護系の大学院設置を支援  ○大学院設置 H18：－ ⇒ H22：設置 ○民間企業等からの受託研究数の増 H18：－ ⇒ H22：15件
<b>(仮称)市立認定こども園整備事業【再掲】</b>  子) 子育て支援部 教) 学校教育部 [533百万円]	幼稚園と区保育・子育て支援センターを併設し、教育・保育の一体的な提供と子育て支援を行う、(仮称)市立認定こども園を整備  ○(仮称)市立認定こども園の開園 H18：－ ⇒ H21：開園
<b>札幌市奨学金の拡充</b>  教) 学校教育部 [77百万円]	経済的理由で修学困難な高校生・大学生への奨学金支給の対象人数の拡大と「定時制・障がい」枠の新設  ○奨学金支給対象数 H18：456人 ⇒ H22：1,000人
<b>新しいタイプの定時制 高校「市立札幌大通高 等学校」の設置</b>  教) 学校教育部 [2,670百万円]	市立高等学校4校の定時制課程を再編し、午前・午後・夜間の三部制や単位制を取り入れた定時制高校を開設  ○市立札幌大通高等学校の開設 H18：－ ⇒ H20：開設
<b>施策2 健やかな育ちの推進</b>	
<b>児童家庭支援センター 体制整備</b>  子) 児童福祉総合センター [57百万円]	児童虐待・非行・いじめ・子育て不安などの児童問題に、24時間対応の相談、指導を行う児童家庭支援センターを拡充  ○児童家庭支援センター設置数 H18：2カ所 ⇒ H21：4カ所
<b>いじめ・不登校対策の 推進事業</b>  教) 学校教育部 [352百万円]	子どもの心の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを学校に配置するとともに民間施設との連携を強化  ○小学校の相談時間数 H18：－ ⇒ H20：月4時間 ○中学校の相談時間数 H18：週6時間 ⇒ H20：週8時間
<b>特別支援学級の整備</b>  教) 学校教育部 [124百万円]	特別支援教育の対象となる子どもたちが地域の学校で学べるように、特別支援学級などを整備拡充  ○特別支援学級設置率 H18：43% ⇒ H22：55%
<b>特別支援教育の 推進体制の充実</b>  教) 学校教育部 [1,119百万円]	障がいのある子どもたちが学校で適切な支援を受けることができるように、特別支援教育の推進体制を充実  ○特別支援教育巡回相談員配置数 H18：3人 ⇒ H19：10人 ○特別支援教育支援員活用体制の構築 H18：－ ⇒ H20：構築
<b>豊明高等養護学校に おける教育の充実</b>  教) 学校教育部 [271百万円]	豊明高等養護学校の間口拡大と教育内容の見直しによる職業教育の充実  ○豊明高等養護学校の間口数 H18：18間口 ⇒ H22：21間口

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>地域小規模児童養護施設の整備</b> 子) 児童福祉総合センター [21百万円]	虐待を受けた子どもたちに対し、より家庭的な生活環境のなかで適切な心理ケアを行う、地域小規模児童養護施設を整備 ○地域小規模児童養護施設設置数 H18：－ ⇒ H22：1カ所
<b>施策3 自らが考え思いやりと豊かな心をはぐくむ環境づくり</b>	
<b>こどものまち「ミニさっぽろ」事業</b> 子) 子ども育成部 [18百万円]	小学生が「ミニさっぽろ市」の市民となり、働き、給料を得て、買い物や食事などができる社会生活体験事業を実施 ○参加人数 H18：3,440人 ⇒ H22：5,000人
<b>子どもの美術体験事業</b> 観) 文化部 [4百万円]	子どもたちに美術を体験してもらうために、小学校へ芸術家を派遣したり、小学生を美術館に招待する体験事業を実施 ○参加児童数（累計） H18：－ ⇒ H22：3,200人
<b>子どもの映像制作体験事業</b> 観) 文化部 [5百万円]	中学生を対象に、芸術の森などを撮影舞台として、プロの指導のもと映像制作のワークショップを実施 ○参加者数（累計） H18：－ ⇒ H22：50人
<b>佐藤忠良関連施設整備事業</b> 観) 文化部 [358百万円]	芸術の森野外美術館内に、札幌市ゆかりの彫刻家である佐藤忠良の作品を収蔵・展示する施設を建設 ○施設開設 H18：－ ⇒ H20：開設
<b>児童会館における中・高校生の利用促進</b> 子) 子ども育成部 [183百万円]	中・高校生の児童会館利用促進のため、開館時間を21時まで延長する日を設定 ○夜間利用実施館数 H18：20館 ⇒ H22：104館
<b>ミニ児童会館の新設</b> 子) 子ども育成部 [645百万円]	子どもの放課後などの居場所づくりを進めるため、ミニ児童会館を整備 ○ミニ児童会館数 H18：40館 ⇒ H22：70館
<b>子どもの権利の推進</b> 子) 子ども育成部 [134百万円]	子どもの権利条例を制定するとともに、権利侵害からの救済制度を創設 ○子どもの権利条例の制定 H18：－ ⇒ H20：制定

## 政策目標 2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>重点課題 1 市民の主体的な地域づくりの支援</b>	
<b>施策 1 市民自治の実践による地域づくりの推進</b>	
<b>まちづくりセンター 地域自主運営化推進</b>  市) 地域振興部 [ - ]	地域課題の解決方法をまとめた「地域活動ビジョン」の策定などを支援し、まちづくりセンターの運営を地域に委託  ○地域自主運営化したまちづくりセンター数 H18：－ ⇒ H22：10カ所
<b>地域特性に応じた 土地利用の再構築事業 【再掲】</b>  市) 都市計画部 [50百万円]	土地利用ルールのあり方や土地利用転換など、時代の変化に対応した再構築の検討や地域のまちなみルールの創設  ○地区計画の決定、変更数 H18：－ ⇒ H22：3地区 ○地域まちなみづくり推進制度の策定 H18：検討 ⇒ H21：策定
<b>地域と創る冬みち事業</b>  建) 管理部 [453百万円]	地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いによって、地域の実情に応じた除排雪を実施  ○参加町内会数 H18：186町内会 ⇒ H22：560町内会
<b>施策 2 地域の連携によるまちづくりの推進</b>	
<b>区民協議会設置・運営 事業</b>  市) 地域振興部 [32百万円]	区民意見の調整や合意形成の場である「区民協議会」を、市民意見などを踏まえて全区に設置  ○区民協議会の設置区数 H18：3区 ⇒ H22：10区
<b>大学と地域の連携に よる都市再生の推進</b>  市) 企画部 [23百万円]	大学や学生の力を活かした地域課題の解決のしくみづくりとして、市と大学の意見交換や大学と地域のワークショップなどを実施  ○大学連携ネットワーク会議の設置 H18：－ ⇒ H20：設置
<b>大学や学生との連携に よる地域づくりの促進</b>  市) 地域振興部 他 [42百万円]	学生が地域課題解決のための取り組みを提案する場などの設定や、区における大学や学生の力を活かしたまちづくり活動の推進  ○学生プレゼンテーション大会開催数（累計） H18：1回 ⇒ H22：5回
<b>施策 3 市民の主体的な活動推進のための環境づくり</b>	
<b>市民まちづくり活動 促進総合事業</b>  市) 地域振興部 [40百万円]	市民まちづくり活動促進条例の制定や条例に基づく計画の策定などを行うとともに、市民まちづくり活動を活性化するための支援を実施  ○市民まちづくり活動促進条例制定 H18：検討 ⇒ H19：制定 ○市民まちづくり活動促進基金設置 H18：検討 ⇒ H20：設置

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]		事業概要 達成目標
地域の縁結び事業  市) 地域振興部 [43百万円]	参加機会の少ない市民を対象としたまちづくりに関する講義・研修の実施や、ホームページなどでまちづくりに関する情報を発信  ○まちづくり参加入門教室の開催数 H18: - → H21: 20回 (1区2回)	
子どものまちづくり への参加促進事業  市) 地域振興部 [40百万円]	子ども向けのまちづくり手引書作成や、区におけるまちづくり体験の場の設定、企画提案の募集など、子どものまちづくり体験の機会を拡充  ○子どものまちづくり体験事業の実施回数 H18: - → H20: 10回 (1区1回)	
さっぽろ元気NPO サポートローン  市) 地域振興部 [35百万円]	市民活動団体 (NPO) が安定した事業運営を行うため、金融機関に対し利子補給や損失補償を実施  ○融資件数 (累計) H18: 29件 → H22: 70件	
札幌市アイヌ施策推進 計画策定【再掲】  市) 市民生活部 [10百万円]	アイヌ民族の伝統文化の保存・継承・振興などを図り、歴史・文化・自然観などへの市民理解を推進するためのアイヌ施策推進計画を策定  ○札幌市アイヌ施策推進計画の策定 H18: - → H21: 策定	
さっぽろ市民カレッジ による人材育成の推進  教) 生涯学習部 [ - ]	市民カレッジで学んだ成果を地域での活動に活かすしくみの構築や市民の知識や技術などを認証する手法の検討  ○講座受講者数 H18: 3,520人 → H22: 4,200人	
<b>重点課題2 札幌の経済を支える企業・人の支援</b>		
<b>施策1 資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実</b>		
元気がんばれ資金  経) 産業振興部 [5,579百万円]	地域発展と雇用維持に寄与する小規模事業者などに対し、経営の安定と地域に根ざした企業活動を振興するため必要な小口資金を創設  ○新規融資額 H18: - → H22: 9億円/年 ○新規融資件数 H18: - → H22: 300件/年	
中小企業ネットワーク 構築・推進事業  経) 産業振興部 [81百万円]	より実効性のある企業支援施策を推進するため、業種別懇談会や業界団体トップ経営者による賢人会議などを開催  ○賢人会議開催回数 H18: - → H22: 3回/年	
アジア圏等経済交流 促進事業  経) 産業振興部 [145百万円]	国際競争力を高めながらアジア圏諸国との産業ネットワークを構築するため、企業の販路拡大や調達コスト削減を支援  ○商談会への延べ参加企業数 H18: 156社 → H22: 230社	

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>施策2 安心して働ける環境づくりの推進</b>	
<b>就業者総合サポート事業</b>  経) 雇用推進部 [90百万円]	就業サポートセンターなどの利用時間延長や再就職支援の強化、仕事の悩み相談窓口の開設など安心して働ける環境を整備  ○就業サポートセンター等の利用者数 H18: 91,657人 ⇒ H22: 100,000人 ○再就職支援セミナーの受講者数 H18: 867人 ⇒ H22: 1,300人
<b>若年層に対する就業支援事業</b>  経) 雇用推進部 [145百万円]	若年求職者の総合的な就業支援や若手社員の職場定着を促進する事業を実施  ○受講者数 H18: 596人 ⇒ H22: 1,000人 ○就業率 H18: - ⇒ H22: 30%
<b>施策3 創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援</b>	
<b>団塊の世代及び女性の起業支援事業</b>  経) 産業振興部 [15百万円]	起業セミナーの充実や個別アドバイスを行う起業塾の実施などにより、団塊の世代・女性の起業を支援  ○団塊の世代、女性に特化した起業セミナーの開催回数(累計) H18: 2回 ⇒ H22: 26回
<b>ものづくり産業活性化支援事業</b>  経) 産業振興部 [43百万円]	市内の中小製造業者などが行う新製品の開発、企業間ネットワークの構築や人材育成を支援  ○「新製品開発・既製品改良」補助件数(累計) H18: - ⇒ H22: 16件
<b>重点課題3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致</b>	
<b>施策1 札幌の都市イメージを活用した産業の振興</b>	
<b>都心部における北海道の魅力発信事業</b>  市) 企画部 [65百万円]	道内各市町村との連携による食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行う拠点を都心部に整備  ○来場者数 H18: - ⇒ H22: 10万人 ○道内各地域からの出展者数 H18: - ⇒ H22: 50件
<b>「食のまち」札幌の推進</b>  経) 産業振興部 [96百万円]	スイーツに関するイベントの開催や食品見本市への出展、情報発信拠点の整備を通して「札幌の食」を国内外に発信  ○スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数 H18: 85社 ⇒ H22: 170社 ○「食のまち」札幌発信拠点の整備 H18: - ⇒ H22: 整備
<b>札幌スタイル推進事業</b>  経) 産業振興部 [93百万円]	デザインコンペの開催や認証事業の実施などにより、デザインを活用した商品開発力の向上と販売力の強化を支援  ○認証製品数(累計) H18: 56件 ⇒ H22: 100件

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>施策2 IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大</b>	
<b>首都圏ビジネス チャンス拡大支援事業</b>  総) 東京事務所 [43百万円]	地元企業の首都圏での販路拡大支援のため、プレゼンテーションの場を提供するなど、東京事務所をビジネス拠点として開放  ○販路拡大支援事業への首都圏参加企業数 H18 : 94社 ⇒ H22 : 200社 ○ビジネスラウンジ利用者数 H18 : 323人 ⇒ H22 : 500人
<b>企業連携構築事業</b>  経) 産業振興部 [30百万円]	関東や関西でマッチングイベントを開催し、IT・バイオ分野での事業連携、技術提携や共同研究を促進  ○ビジネスマッチングの来場者数 H18 : 427人 ⇒ H22 : 800人
<b>「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city)」 の活用と推進</b>  市) 企画部 経) 産業振興部 [80百万円]	「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city)」の活用と推進に向けて、基本デザインの策定、展開やアイコモンズ・サミット2008の開催など  ○民間創造都市推進組織の設置 H18 : - ⇒ H22 : 設置 ○IPビジネス研究会への参加企業数 H18 : - ⇒ H22 : 50社
<b>さっぽろフィルム コミッション強化事業</b>  経) 産業振興部 [124百万円]	ロケーション撮影への対応の充実と、ロケ誘致の拡大や市内映像クリエイターの育成を支援し、映像産業の振興を促進  ○ロケーション (延べ) 撮影日数 H18 : 236日 ⇒ H22 : 500日
<b>高度情報通信 人材育成・活用事業</b>  経) 産業振興部 [188百万円]	高度な業務を受注できる人材の育成と人材の活用により、IT産業の売上げ拡大を推進  ○この事業による市内IT企業への就業者数 H18 : 72人 ⇒ H22 : 100人
<b>新産業育成推進事業</b>  経) 産業振興部 [48百万円]	新産業の事業化を期待できる、バイオテクノロジーなどの分野において、中小企業と大学や異業種などとの連携を支援  ○補助金交付件数 (累計) H18 : 2件 ⇒ H22 : 10件
<b>施策3 札幌の優位性を活かした企業の誘致</b>	
<b>企業誘致促進事業</b>  経) 産業振興部 [304百万円]	IT・デジタルコンテンツ・バイオ企業を誘致するため、PR活動や新規立地企業に対する補助を実施  ○この事業による誘致企業数 (累計) H18 : - ⇒ H22 : 15社
<b>雇用創出型ニュー ビジネス立地促進事業</b>  経) 産業振興部 [870百万円]	コールセンターなどの立地促進を図るため、誘致活動、立地企業への補助のほか、既就職者への研修などを実施  ○この事業による事業所開設数 (累計) H18 : 39社 ⇒ H22 : 60社



## 政策目標 3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>重点課題 1 高齢者の地域生活支援の充実</b>	
<b>施策 1 社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援</b>	
<b>福祉除雪事業</b>  保) 総務部 [ - ]	高齢者や障がいのある人が安心して暮らせるよう、地域住民や企業などの地域協力員が、間口除雪などのサービスを実施  ○利用世帯の満足度 H18: 90.2% ⇒ H22: 90%以上 ○地域協力員の満足度 H18: 90.8% ⇒ H22: 90%以上
<b>はつらつシニアサポート事業 (高齢者地域貢献支援事業)</b>  保) 保健福祉部 [132百万円]	高齢者団体が自主的に運営する生きがい活動の拠点や社会貢献に係わる先駆的な取り組みなどに対して支援を実施  ○シニアサロンモデル事業設置数(累計) H18: 6カ所 ⇒ H22: 20カ所 ○シニアチャレンジ事業実施団体(累計) H18: 8団体 ⇒ H22: 50団体
<b>ねんりんピック北海道・札幌2009の開催</b>  保) 保健福祉部 [326百万円]	平成21年9月に開催される「ねんりんピック(全国健康福祉祭)北海道・札幌2009」に向けた開催準備を実施  ○ねんりんピック北海道・札幌2009の開催 H18: 開催準備 ⇒ H21: 開催
<b>敬老優待乗車証交付事業</b>  保) 保健福祉部 [1,054百万円]	高齢者の外出を支援し、明るく豊かな老後の生活の充実を図るため、敬老優待乗車証の利用限度額を引き上げ  ○敬老優待乗車証の利用限度額 H18: 5万円 ⇒ H21: 7万円
<b>施策 2 高齢者の安心を支える地域福祉力の向上</b>	
<b>高齢者消費者被害防止ネットワーク事業</b>  市) 市民生活部 [33百万円]	地域に消費生活相談員OBなどを配置し、関係機関と連携しながら、高齢者の消費者被害を防止  ○消費生活みまもり協力員の配置区数 H18: - ⇒ H20: 10区
<b>高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業</b>  保) 総務部 [225百万円]	判断力が低下した方のための総合的な相談窓口を開設するとともに、市社会福祉協議会が法人として法定後見業務を開始  ○総合的な相談窓口の設置 H18: 検討 ⇒ H20: 設置 ○社会福祉協議会の法人後見事業の実施 H18: 検討 ⇒ H20: 実施
<b>認知症サポーター養成事業</b>  保) 保健福祉部 [ - ]	認知症の人とその家族を支援するため、認知症の支援者(認知症サポーター)を養成する講座を開催  ○認知症サポーター養成数(累計) H18: 1,862人 ⇒ H22: 9,000人
<b>高齢者が安心して暮らせるまちづくり推進事業</b>  白) 保健福祉部 [6百万円]	「要援護者」の福祉ニーズの把握による効果的な福祉支援活動の実施と地域住民を中心とした支援体制を整備  ○地域における要援護者への体制づくり H18: - ⇒ H22: 全地区での取り組み

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>施策3 介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援</b>	
<b>地域包括支援センター (介護・健康何でも相談センター) 運営事業</b> 保) 保健福祉部 [132百万円]	高齢者の地域生活や介護予防の支援の拠点である地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)を増設 ○地域包括支援センター設置数 H18:17カ所 ⇒ H22:21カ所
<b>介護予防事業の充実</b> 保) 保健福祉部 [ - ]	高齢者の要介護状態への移行を抑制するために、「すこやか倶楽部」や「転倒・骨折予防教室」などの各種の介護予防教室を推進 ○一般高齢者の介護予防事業の開催回数 H18:2,645回 ⇒ H22:2,645回 ○特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業への参加者数 H18:1,702人 ⇒ H22:2,400人 ○特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業の開催回数 H18:895回 ⇒ H22:1,137回
<b>夜間対応型訪問介護事業費補助事業</b> 保) 保健福祉部 [90百万円]	高齢者の地域生活を支援するため、定期巡回と通報による随時対応を組み合わせた「夜間対応型訪問介護」を開始 ○利用者数 H18: - ⇒ H22:460人/月
<b>特別養護老人ホーム新築費補助事業</b> 保) 保健福祉部 [480百万円]	高齢者の地域生活を支援するため、地域密着型特別養護老人ホームの整備に対して補助を実施 ○地域密着型特別養護老人ホームの入所定員数 H18:51人 ⇒ H22:283人
<b>重点課題2 障がい者の自立支援の促進</b>	
<b>施策1 共生に根ざした健やかな地域生活の支援</b>	
<b>高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業【再掲】</b> 保) 総務部 [225百万円]	判断力が低下した方のための総合的な相談窓口を開設するとともに、市社会福祉協議会が法人として法定後見業務を開始 ○総合的な相談窓口の設置 H18:検討 ⇒ H20:設置 ○社会福祉協議会の法人後見事業の実施 H18:検討 ⇒ H20:実施
<b>障がい者グループホーム等の拡充</b> 保) 保健福祉部 [52百万円]	単身生活が困難な障がいのある人の居住の場となる、障がい者グループホームなどを増設 ○グループホーム等の箇所数 H18:164カ所 ⇒ H22:268カ所
<b>身近な地域における総合的な相談支援体制の拡充</b> 保) 保健福祉部 [251百万円]	障がいのある人やその家族を対象に、総合的な相談支援を行うとともに、これに必要な相談支援体制を拡充 ○障がい者相談支援事業実施箇所数 H18:10カ所 ⇒ H22:16カ所 ○住宅入居等支援事業実施箇所数 H18:- ⇒ H22:7カ所

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>障がい児（者）に対する専門的な療育支援体制の拡充</b> 保) 保健福祉部 [37百万円]	在宅で生活する障がいのある子どもなどを対象に、療育指導を行うとともに、関係機関への技術指導を行う実施施設を拡充 ○障がい児等療育支援事業実施箇所数 H18：5カ所 ⇒ H22：8カ所
<b>施策2 協働による障がいのある人への就労支援</b>	
<b>障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん（派遣）」事業～</b> 保) 保健福祉部 [35百万円]	施設利用者、養護学校卒業生などを人材派遣会社に登録し、企業などに派遣する事業を試行的に実施 ○本事業により企業などに派遣される障がい者数 H18：－ ⇒ H22：5人/日
<b>障がい者協働事業の拡充</b> 保) 保健福祉部 [193百万円]	障がい者を5人以上雇用するなど一定の要件を満たす事業者に対して補助を行う「障がい者協働事業」を拡充 ○協働事業実施事業所数 H18：3カ所 ⇒ H22：10カ所
<b>「元気ショップ」の拡充</b> 保) 保健福祉部 [30百万円]	「元気ショップ2号店」を開設。また、「福祉ショップいこ～る」の集客力向上に向けた取り組みを実施 ○元気ショップ2号店の開設 H18：－ ⇒ H22：開設
<b>障がい者地域活動支援センター（就労者支援型）の創設</b> 保) 保健福祉部 [55百万円]	障がいのある人の雇用の促進と就労の安定を図るため、「地域活動支援センター（就労者支援型）」を設置 ○障がい者地域活動支援センター（就労者支援型）設置箇所数 H18：－ ⇒ H22：1カ所
<b>施策3 障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化</b>	
<b>交通バリアフリー推進事業</b> 市) 総合交通計画部 [160百万円]	札幌市交通バリアフリー基本構想の見直しや交通事業者（JR、バス）の施設整備などに対して補助を実施 ○利用者5,000人/日以上以上のJR駅バリアフリー化(累計) H18：9駅 ⇒ H22：12駅 ○ノンステップバスの導入台数（累計） H18：51台 ⇒ H22：75台
<b>福祉のまちづくり環境整備事業</b> 保) 保健福祉部 [1,698百万円]	地下鉄駅にエレベーターおよび車いす使用者用トイレを設置 ○地下鉄駅へのエレベーター等設置 H18：43駅 ⇒ H22：47駅
<b>ユニバーサルデザインの公園づくり事業</b> 環) みどりの推進部 [1,692百万円]	出入口や園路の段差解消、傾斜路における手すりの設置、ベンチなどの休憩施設、身障者対応便所の設置などを実施 ○身障者対応便所の整備率 H18：20% ⇒ H22：30%
<b>地下鉄駅施設のバリアフリー化の推進</b> 交) 高速電車部 [875百万円]	全地下鉄駅施設に、視覚障がい者誘導用ブロックや車いす対応身障者トイレのオストメイト化などを実施 ○バリアフリー化されている駅数 H18：22駅 ⇒ H22：49駅(全駅)

## 政策目標 4 安全・安心で、人と環境にやさしい街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>重点課題 1 水とみどりの保全・育成と創出</b>	
<b>施策 1 みどりの保全・育成</b>	
<b>みどり資源の保全推進事業</b>  環) みどりの推進部 [1,385百万円]	特別緑地保全地区の土地の取得や、公益性のある市街地近郊の樹林地の公有化による樹林の保全  ○都市環境林面積（累計） H18：1,665ha ⇒ H22：1,678ha
<b>施策 2 みどりの創出</b>	
<b>木立ちを感じる街づくり事業</b>  環) みどりの推進部 [728百万円]	都心部や主要幹線道路における緑ゆたかな街路樹づくりの実施と、地域や家庭での植樹の取り組みへの支援  ○一家庭一植樹運動推進事業による植樹本数（累計） H18：19,294本 ⇒ H22：59,300本
<b>さっぽろふるさとの森づくり事業</b>  環) みどりの推進部 [39百万円]	公園予定地などにおける市民植樹祭や、市民参加による苗木づくり、樹木の育成活動の実施  ○市民植樹祭での植樹本数（累計） H18：56,350本 ⇒ H22：100,350本
<b>北緯43° 花香る北の街づくり事業</b>  環) みどりの推進部 建) 管理部 [200百万円]	地域が主体となって管理する花壇づくりの推進や、市民自ら花苗を育成して植栽する取り組みへの支援  ○コミュニティガーデン設置数（累計） H18：－ ⇒ H22：30カ所 ○花を活用した管理を行う道路残地箇所数（累計） H18：－ ⇒ H22：10カ所
<b>創成川通親水緑地整備事業</b>  環) みどりの推進部 建) 土木部 [2,100百万円]	創成川通アンダーパス連続化事業により創出される地上部分に、水とみどりを生かした新たな空間を整備  ○都心部における水とみどりの空間 H18：－ ⇒ H22：1.9ha
<b>施策 3 水辺の保全・創出</b>	
<b>合流式下水道の改善事業</b>  建) 下水道河川部 [1,982百万円]	雨天時の下水がそのまま河川に流れないように、ごみなどの流出防止策や初期降雨を貯留する施設整備の実施  ○吐口（はきぐち）対策実施済数（累計） H18：6カ所 ⇒ H22：22カ所 ○豊平川貯留管の整備進捗よく率 H18：－ ⇒ H22：35%
<b>多自然川づくりの推進</b>  建) 下水道河川部 [582百万円]	河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境および多様な河川景観を保全創出する河川整備の実施  ○多自然川づくり整備延長 H18：4.7km ⇒ H22：5.5km

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>施策4 水とみどりを楽しむ心の醸成</b>	
<b>みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業</b>  環) みどりの推進部 [17百万円]	公園緑地の保全や利活用を一体的に進めるボランティア、リサイクル活動、情報提供拠点・ネットワークづくりなどへの支援  ○公園緑地ボランティア登録団体数 H18:31団体 → H22:50団体 ○利活用促進のためのイベント等実施数 H18:- → H22:100回
<b>国際園芸博覧会構想の検討</b>  市) 企画部 [12百万円]	国際園芸博覧会開催について基礎調査を実施し、市民意向を把握の上、開催誘致の是非を決定  ○開催誘致の是非決定 H18:- → H20:決定
<b>重点課題2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築</b>	
<b>施策1 環境行動を実践する人と街づくり</b>	
<b>「環境首都・札幌」宣言事業</b>  環) 環境都市推進部 [7百万円]	地球温暖化対策への市の姿勢などを発信する「環境首都・札幌」宣言の実施、「さっぽろ地球環境憲章」の策定など  ○「さっぽろ地球環境憲章」の策定 H18:- → H20:策定
<b>CO<sub>2</sub>削減普及推進事業(エコライフ定着関係事業)</b>  環) 環境都市推進部 [134百万円]	具体的な二酸化炭素排出削減に向けた市民・事業者の自主的な環境保全行動の定着を図る普及啓発事業の推進  ○エコライフ行動レポートの集計に基づき試算されるCO <sub>2</sub> 排出削減量 H18:- → H22:4万t
<b>環境教育の推進</b>  環) 環境都市推進部 [90百万円]	「地球環境問題」をテーマとして子どもを対象とする環境教育を行うための実践プログラムなどを策定  ○学校におけるエコライフ行動レポートの提出枚数(累計) H18:- → H22:54万枚
<b>北海道の野生動物復元事業</b>  環) 円山動物園 [671百万円]	希少動物であるオオワシやシマフクロウを繁殖し、自然界へ放鳥させるまでのプロジェクトをその過程から展示  ○オオワシ、シマフクロウの繁殖数 H18:- → H22:3羽 ○オオワシ、シマフクロウの放鳥数 H18:- → H22:3羽
<b>円山動物園リニューアル事業</b>  環) 円山動物園 [ - ]	動物園内の各種施設の改修、改築などについて、平成19年度内に策定する基本計画に基づき、順次実施  ○基本計画の策定 H18:- → H19:策定
<b>施策2 省エネルギー、新エネルギーの普及促進</b>	
<b>建築物環境配慮事業</b>  環) 環境都市推進部 [33百万円]	環境負荷の大きい大規模建築物の計画設計時に事業者が総合環境性能評価を行い、市が結果を公表する制度を導入  ○建築物環境配慮制度に基づく総合環境性能評価の提出件数(累計) H18:- → H22:300件

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>都市再生プロジェクト エネルギーネットワーク 構築事業費補助</b> 環) 環境都市推進部 [766百万円]	都心部の未利用排熱の有効利用のため地域熱供給事業者が行う「札幌駅前通熱供給導管ピット整備事業」を支援 ○札幌駅前通熱供給導管ピット整備 H18：事業着手 ⇒ H22：完成
<b>太陽光発電等設置 モデル事業</b> 環) 環境都市推進部 [52百万円]	環境教育への活用、市民への新エネルギー導入促進のため、普及啓発効果の高い小学校へ太陽光発電設備を導入 ○学校への新エネルギー設備導入件数 H18：7件 ⇒ H22：10件
<b>メガワットソーラー共同 利用モデル検討事業</b> 環) 環境都市推進部 [ - ]	1,000kW規模の太陽光発電施設を建設し、市や地域の住民・事業者が共同利用するモデル事業を実施 ○1,000kW規模の太陽光発電所の設置 H18：- ⇒ H22：1施設
<b>札幌・エネルギーeco プロジェクト</b> 環) 環境都市推進部 [2,388百万円]	市・エネルギー事業者・金融機関共同で新たな融資・補助制度を創設し、市民の新エネ・省エネ設備導入を支援 ○新エネルギー設備等の新規融資額 H18：- ⇒ H22：10億円
<b>施策3 みんなで進めるごみ減量、リサイクル</b>	
<b>札幌市一般廃棄物処理 基本計画の改定</b> 環) 環境事業部 [ - ]	札幌市一般廃棄物処理基本計画を改定(「スリムシティさっぽろ計画」)し、新たなごみ減量・リサイクル施策を実施 ○計画の改定 H18：- ⇒ H19：改定
<b>家庭用廃食油資源化 促進事業</b> 環) 環境事業部 [11百万円]	家庭から排出される使用済み食用油の回収拠点となるスーパーマーケットなどに対し回収ボックス設置費を支援 ○廃食油回収拠点数 H18：43カ所 ⇒ H22：200カ所 ○廃食油回収量 H18：1,200ℓ/月 ⇒ H22：7,000ℓ/月
<b>ごみ減量アクション プログラム支援事業</b> 環) 環境事業部 [48百万円]	市民・事業者・市からなる「さっぽろスリムネット」のごみ減量実践活動への支援や実践者拡大の取り組みを実施 ○「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数 H18：10,000人 ⇒ H22：20,000人
<b>定山溪地区生ごみ 堆肥化推進事業</b> 環) 環境事業部 [10百万円]	定山溪地区での生ごみ資源化の促進に向けた「バイオマスタウン構想」策定や生ごみ堆肥活用拡大のための調査 ○参加事業者の生ごみ分別量 H18：1.6t/日 ⇒ H22：3.2t/日
<b>重点課題3 日常の身近な暮らしの安心の確保</b>	
<b>施策1 地域での防火・防犯対策</b>	
<b>開かれた消防活動の 推進</b> 消) 予防部 [ - ]	小学4年生を対象に消防職員が体験型授業を行うとともに、市民が気軽に防火の相談ができる窓口を設置 ○「教えて！ファイヤーマン」事業の実施校数 H18：要望する全小学校(203校) ⇒ H22：要望する全小学校

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]		事業概要 達成目標
<b>犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業</b>  市) 地域振興部 [28百万円]	地域の防犯活動を支援する条例の制定や、薄野地区において犯罪の起こりにくい環境を整備  ○(仮称) 犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定 H18: - ⇒ H20: 制定	
<b>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業</b>  教) 総務部 [67百万円]	児童の安全を守るため、警察官OBなどをスクールガードリーダーとして委嘱し、巡回活動などを実施  ○スクールガードリーダー数 H18: 39人 ⇒ H22: 50人	
<b>施策2 日常の暮らしの安心</b>		
<b>民間建築物吹付けアスベスト対策事業</b>  都) 建築指導部 [31百万円]	民間建築物の吹付けアスベストの分析調査や除去などの工事に対する支援を実施  ○アスベスト含有調査件数(累計) H18: - ⇒ H22: 30件 ○アスベスト除去等工事件数(累計) H18: - ⇒ H22: 24件	
<b>東西線可動式ホーム柵設置事業</b>  交) 高速電車部 [3,327百万円]	地下鉄東西線全駅のホームに、列車の各ドアに合わせて開閉する可動式ホーム柵を設置  ○可動式ホーム柵の設置駅数 H18: - ⇒ H22: 19駅	
<b>救急隊増強整備</b>  消) 警防部 [37百万円]	増加する救急需要などに対応するため、救急需要が多い東区札苗地区に救急隊を1隊増強  ○救急隊数 H18: 30隊 ⇒ H19: 31隊	
<b>重点課題4 災害に強い安全なまちの整備</b>		
<b>施策1 住民等との協働による災害対策</b>		
<b>自主防災活動の推進</b>  危) 危機管理対策部 [72百万円]	地域の単位町内会などを自主防災活動の主体と位置付け、防災資機材の助成などにより地域の主体的な取り組みを推進  ○防災リーダー研修への参加者数 H18: 750人 ⇒ H22: 800人	
<b>簡易型災害図上訓練(DIG)への支援</b>  危) 危機管理対策部 [5百万円]	簡易型災害図上訓練(DIG)を普及させるため普及員などを養成し、地域が実施するDIGを支援  ○DIG実施支援回数 H18: 18回 ⇒ H22: 100回	
<b>災害時要援護者避難支援対策</b>  危) 危機管理対策部 保) 総務部 [12百万円]	災害時に手助けが必要な人(災害時要援護者)の支援のため、避難支援のガイドライン作成など地域での取り組みを促進  ○災害時要援護者避難支援モデル事業実施数(累計) H18: - ⇒ H22: 10カ所	

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>施策2 地域防災力の強化</b>	
<b>地震等防災対策の充実と避難体制の強化</b>  危) 危機管理対策部 [95百万円]	地震、洪水のハザードマップの作成と、洪水や土砂災害発生時の避難勧告などの判断・伝達マニュアルの作成  ○避難勧告等の判断・伝達マニュアル(土砂災害編・洪水災害編)の作成 H18: - → H22: 完了 ○ハザードマップ(地震、洪水(南区・清田区))の作成・配布 H18: - → H22: 完了
<b>防災行政無線拡充整備</b>  危) 危機管理対策部 [288百万円]	災害時に備え、まちづくりセンターや小学校などにデジタル式防災行政無線を整備  ○防災行政無線整備数 H18: 518基 → H21: 818基
<b>防災情報伝達モデル等推進事業</b>  危) 危機管理対策部 [3百万円]	大規模災害発生時の避難勧告などを迅速に伝えるため、実証実験の実施と効果的な情報伝達方法を検討  ○防災・危機管理情報伝達システムの整備方針策定 H18: - → H22: 完了
<b>「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業</b>  都) 開発事業部 [311百万円]	東雁来第2土地区画整理地区内に、豊平川の洪水時などにおける防災減災に向けた拠点施設を整備  ○水防センター建設 H18: - → H22: 工事完了
<b>施策3 公共施設等の耐震機能の強化</b>	
<b>区役所施設等耐震補強事業</b>  市) 地域振興部 [1,025百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、耐震性能が低い区役所や保健センターなどの耐震改修や改築を実施  ○耐震性能の強化 H18: - → H22: 耐震補強実施
<b>学校施設耐震補強事業</b>  教) 総務部 [5,138百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、耐震性能が低い学校施設の耐震補強を実施  ○耐震性能が低い学校施設(5カ年計画対象施設)の耐震補強着手数 H18: 3校 → H22: 48校
<b>学校改築事業</b>  教) 総務部 [13,589百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、耐震性能が低く、老朽化が著しい学校施設を改築  ○耐震性能が低く老朽化が著しい学校施設(5カ年計画対象施設)の改築着手数 H18: - → H22: 4校
<b>中島体育センター耐震補強事業</b>  観) スポーツ部 [6百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、中島体育センターの耐震補強を実施  ○耐震性能の強化 H18: - → H20: 耐震補強実施



重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>消防施設耐震補強事業</b>  消) 総務部 [41百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、耐震性能が低い南消防署と大通出張所の耐震補強を実施  ○耐震性能の強化 H18：－ ⇒ H22：耐震補強実施
<b>災害に強い道づくり事業(橋りょうの耐震化)</b>  建) 土木部 [2,840百万円]	大規模な災害時に救急・消火及び緊急物資の輸送などに使う緊急輸送路の機能を確保するための橋りょうの耐震補強を実施  ○耐震補強実施済橋りょう数(累計) H18：26橋(34.7%) ⇒ H22：45橋(60%) ○第1次緊急輸送道路における耐震補強実施済橋りょう数(累計) H18：11橋(68.8%) ⇒ H22：16橋(100%)
<b>札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化</b>  水) 給水部 [1,477百万円]	大規模地震災害時においても適切な医療活動ができるよう、札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化を実施  ○供給ルートが全て耐震化されている札幌市災害時基幹病院数 H18：－ ⇒ H22：12カ所
<b>民間建築物耐震化促進事業</b>  都) 市街地整備部 都) 建築指導部 [308百万円]	「札幌市耐震改修促進計画」を策定するとともに、民間建築物の耐震化の促進に向けた耐震診断支援を実施  ○札幌市耐震改修促進計画の策定 H18：検討 ⇒ H19：策定 ○札幌市内の住宅の耐震化率 H18：82.8% ⇒ H22：85.5%

## 政策目標 5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>重点課題 1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興</b>	
<b>施策 1 多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり</b>	
<b>サッポロ・シティ・ジャズ</b>  <small>観) 文化部 [33百万円]</small>	市内各所でのジャズライブほか、海外ジャズフェスティバルとの交流、ワークショップなどの教育プログラムを開催  ○イベント観客動員数 H18: 4,000人 ⇒ H22: 10万人 ○市民ボランティア登録者数 H18: - ⇒ H22: 600人 ○パークジャズライブ参加者数 H18: 65人 ⇒ H22: 3,000人
<b>パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助</b>  <small>観) 文化部 [658百万円]</small>	世界の3大教育音楽祭の一つであるパシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) に対して事業費補助を実施  ○PMFで指導を受けるためのオーティション(オーケストラコース)応募者数 H18: 1,348人 ⇒ H22: 1,468人
<b>創成川アートワーク事業</b>  <small>観) 文化部 [58百万円]</small>	創成川通アンダーパス連続化事業により生まれる親水緑地空間に、アートワークを設置  ○アートワークの設置 H18: - ⇒ H22: 設置
<b>(仮称) SAPPOROアート&amp;コミュニティセンター整備事業</b>  <small>市) 企画部 [324百万円]</small>	旧曙小学校の跡施設を活用して、文化芸術と地域の融合を目指した文化芸術活動拠点を整備  ○文化芸術団体と地域との交流イベント数 H18: 1回 ⇒ H22: 4回
<b>厚生年金会館存続の検討</b>  <small>市) 企画部 [21百万円]</small>	北海道厚生年金会館の官民協働による取得、運営、資金調達などの枠組みを構築し、会館存続に向けた取り組みを推進  ○北海道厚生年金会館の存続 H18: - ⇒ H22: 存続
<b>芸術文化情報発信事業</b>  <small>観) 文化部 [4百万円]</small>	文化情報や観光情報を集約・発信する「観光文化情報ステーション」を地下鉄大通駅コンコースに設置  ○来場者数 H18: 12,000人 (37日間) ⇒ H22: 10万人 (年間) ○ホームページのアクセス (接続) 数 H18: - ⇒ H22: 20万回
<b>施策 2 市民が自ら作り上げる文化活動の振興</b>	
<b>文化活動練習会場 学校開放事業</b>  <small>観) 文化部 [5百万円]</small>	市内のアマチュアグループや市民などに対して、小学校の教室などを開放し、練習会場や創作の場を提供  ○開放教室数 H18: 21教室 ⇒ H22: 24教室
<b>佐藤忠良関連施設整備事業【再掲】</b>  <small>観) 文化部 [358百万円]</small>	芸術の森野外美術館内に、札幌市ゆかりの彫刻家である佐藤忠良の作品を収蔵・展示する施設を建設  ○施設開設 H18: - ⇒ H20: 開設

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]		事業概要 達成目標
<b>子どもの美術体験事業【再掲】</b> 観) 文化部 [4百万円]	子どもたちに美術を体験してもらうために、小学校へ芸術家を派遣したり、小学生を美術館に招待する体験事業を実施	○参加児童数(累計) H18: - ⇒ H22: 3,200人
	<b>子どもの映像制作体験事業【再掲】</b> 観) 文化部 [5百万円]	中学生を対象に、芸術の森などを撮影舞台として、プロの指導のもと映像制作のワークショップを実施
<b>施策3 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承</b>		
<b>都市景観重要建築物等の保全事業【再掲】</b> 市) 都市計画部 [30百万円]	都市景観重要建築物などの保存のための一部助成や歴史的建造物を生かした景観ガイドラインの策定	○都市景観重要建築物等の指定件数 H18: 18件 ⇒ H22: 30件
	<b>文化財施設維持保存事業</b> 観) 文化部 [186百万円]	文化財を良好な状態で保存・活用し継承していくため、適切な維持・管理や、計画的な整備・補修などを実施
<b>博物館活動センター展示室整備事業</b> 観) 文化部 [15百万円]	大型動物化石総合調査の成果を活用し、市民に発信していくため、サッポロカイギュウに係る展示空間を整備	○展示室の整備 H18: - ⇒ H20: 整備
	<b>札幌市アイヌ施策推進計画策定</b> 市) 市民生活部 [10百万円]	アイヌ民族の伝統文化の保存・継承・振興などを図り、歴史・文化・自然観などへの市民理解を推進するためのアイヌ施策推進計画を策定
<b>重点課題2 スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進</b>		
<b>施策1 スポーツを楽しむ環境づくり</b>		
<b>中央体育館改築事業</b> 観) スポーツ部 [-]	中央体育館の老朽化が著しく耐震補強も必要なことから、改築のための事業計画の策定や調査を実施	○整備計画策定と調査実施 H18: - ⇒ H22: 計画策定と調査完了
	<b>子ども体力向上事業</b> 観) スポーツ部 [23百万円]	子どもの体力・運動能力の低下への対応として、身近な場所で子どもの発達段階に応じた運動教室などを実施
<b>パークゴルフのできる公園整備事業</b> 環) みどりの推進部 [-]	都市公園内にパークゴルフ場を整備	○都市公園内のパークゴルフ場のコース数 H18: 47コース ⇒ H22: 52コース

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>厚別清掃工場跡地パークゴルフ場等整備事業</b> 厚) 市民部 [84百万円]	厚別清掃工場跡地に、パークゴルフ場と芝生広場を整備 ○パークゴルフ場 H18：－ ⇒ H21：供用開始
<b>施策2 地域でのスポーツと健康づくりの推進</b>	
<b>地域スポーツクラブ支援事業</b> 観) スポーツ部 [11百万円]	市民の主体的な運営・活動による札幌らしい総合型地域スポーツクラブの設立を促進するための支援を実施 ○総合型地域スポーツクラブの設立 H18：1カ所 ⇒ H22：5カ所
<b>「健康さっぽろ21」推進事業</b> 保) 健康衛生部 [6百万円]	市民の主体的・継続的な健康づくりを支援するための環境づくりを進め、計画最終年度に向けた重点的な施策・取り組みを推進 ○健康づくり応援企業・店舗数 H18：1,227件 ⇒ H22：2,000件
<b>市民健康づくりサポート事業</b> 保) 健康衛生部 [18百万円]	平成20年度の医療制度改革に向け、メタボリック対策に重点をおいた市民一人ひとりの健康づくりを支援 ○ウォーキング実践指導ボランティアの育成人数 H18：－ ⇒ H22：200人
<b>施策3 ウィンタースポーツの活性化</b>	
<b>ウィンタースポーツ振興事業</b> 観) スポーツ部 [10百万円]	ウィンタースポーツ体験キャンペーンや、小・中学校でのウィンタースポーツ体験事業などの普及啓発を実施 ○ウィンタースポーツをする人の割合 H18：13% ⇒ H22：20% ○ウィンタースポーツ体験事業数 H18：2事業 ⇒ H22：20事業
<b>ウィンタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル</b> 観) スポーツ部 [132百万円]	機器の老朽化により更新が必要なジャンプシミュレーターなど体験装置の改修や、展示品の収集・更新などを実施 ○観覧者数 H18：121,946人 ⇒ H22：133,800人
<b>重点課題3 将来を見据えた魅力ある都市の整備</b>	
<b>施策1 都心のまちづくり</b>	
<b>創世交流拠点整備事業(創世1.1.1区再開発事業)</b> 市) 企画部 [57百万円]	(仮称)市民交流複合施設の整備を含め、都心の新たな拠点形成を図るため、創世1.1.1区再開発事業を推進 ○創世1.1.1区街づくり指針の策定 H18：検討 ⇒ H19：策定 ○北1西1・大通東1再開発基本計画の策定 H18：検討 ⇒ H19：策定
<b>(仮称)市民交流複合施設整備事業</b> 市) 企画部 [50百万円]	市民会館の後継施設である(仮称)市民交流複合施設について、施設内容などを幅広く検討 ○施設基本計画の策定 H18：検討 ⇒ H20：策定 ○施設実施方針の策定 H18：－ ⇒ H20：策定

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
札幌駅交流拠点再整備 構想策定事業 市) 企画部 [22百万円]	道都の玄関口にふさわしい交流拠点を目指した札幌駅周辺再整備構想を策定 ○札幌駅交流拠点再整備構想の策定 H18：－ ⇒ H22：策定
札幌駅前通地下歩行 空間整備事業 建) 土木部 [14,126百万円]	地下鉄さっぽろ駅と大通駅を連絡する地下歩行空間の整備を引き続き実施 ○地下歩行空間（地下歩道）の整備 H18：工事中 ⇒ H22：供用開始
札幌駅前通地下歩行 空間活用推進検討 市) 総合交通計画部 [180百万円]	これまでの検討を踏まえた施設運営・空間活用のルールや制度の具体化、施設整備を実施し、民間による運営体制を確立 ○関連条例の制定 H18：検討 ⇒ H22：制定 ○「にぎわい」がある空間の創出 H18：検討 ⇒ H22：供用準備完了
創成川通アンダーパス 連続化事業 建) 土木部 [10,436百万円]	創成川通の北と南の2つのアンダーパス連続化工事を引き続き実施 ○アンダーパス連続化 H18：工事中 ⇒ H20：供用開始 ○創成川通地上道路部分整備 H18：工事中 ⇒ H22：完成
創成川通親水緑地整備 事業【再掲】 環) みどりの推進部 建) 土木部 [2,100百万円]	創成川通アンダーパス連続化事業により創出される地上部分に、水とみどりを生かした新たな空間を整備 ○都心部における水とみどりの空間 H18：－ ⇒ H22：1.9ha
<b>施策2 快適で魅力的な地域への再構築</b>	
地域特性に応じた 土地利用の再構築事業 市) 都市計画部 [50百万円]	土地利用ルールのあり方や土地利用転換など、時代の変化に対応した再構築の検討や地域のまちなみルールの創設 ○地区計画の決定、変更数 H18：－ ⇒ H22：3地区 ○地域まちなみづくり推進制度の策定 H18：検討 ⇒ H21：策定
都市景観重要建築物等 の保全事業 市) 都市計画部 [30百万円]	都市景観重要建築物などの保存のための一部助成や歴史的建造物を生かした景観ガイドラインの策定など ○都市景観重要建築物等の指定件数 H18：18件 ⇒ H22：30件
自転車利用適正化対策 事業 市) 総合交通計画部 [30百万円]	自転車走行空間、駐輪対策、利用ルール・マナーなどを総括した総合計画を策定 ○(仮称) 自転車利用総合計画の策定 H18：調査、検討 ⇒ H21：策定 ○駐輪場附置義務条例の適用対象施設拡大 H18：調査等 ⇒ H21：条例改正
民間再開発による地域 まちづくりへの支援事業 都) 市街地整備部 [2,605百万円]	JR篠路駅西第2地区、琴似4・2地区をはじめとした再開発事業を支援するとともに、その他2地区において基本計画を策定 ○JR篠路駅西第2地区再開発事業 H18：－ ⇒ H21：完了 ○琴似4・2地区再開発事業 H18：－ ⇒ H22：完了

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>施策3 公共交通機関の利便性向上</b>	
<b>路面電車活用方針検討調査</b> 市) 総合交通計画部 [67百万円]	検討会議から提案された活用の方向性に基づいて検討・検証を行い、事業化判断に必要な基本計画(案)を策定 ○基本計画(案)の策定 H18:検討 ⇒ H21:策定
<b>交通バリアフリー推進事業【再掲】</b> 市) 総合交通計画部 [160百万円]	札幌市交通バリアフリー基本構想の見直しや交通事業者の施設整備などに対して補助を実施 ○利用者5,000人/日以上 JR駅バリアフリー化(累計) H18:9駅 ⇒ H22:12駅 ○ノンステップバスの導入台数(累計) H18:51台 ⇒ H22:75台
<b>交通結節点改善事業 (JR白石駅周辺地区)</b> 建) 土木部 [4,524百万円]	JR白石駅周辺において、市街地の一体化と乗り継ぎ利便性向上のため、自由通路、駅前広場などの整備を引き続き実施 ○JR白石駅自由通路の整備 H18:- ⇒ H22:供用開始
<b>地下鉄ICカードシステムの導入</b> 交) 事業管理部 [3,271百万円]	老朽化に伴う改札機などの更新に併せた地下鉄関連機器のICカード化への対応 ○地下鉄へのICカードの導入 H18:- ⇒ H20:導入
<b>交通ICカードの導入と活用</b> 市) 情報化推進部 [5百万円]	地下鉄において先行導入予定であるICカードの民間バス事業者との共通化や商業、行政利用との連携の枠組みの検討 ○ICカードの商業、行政利用との連携枠組み検討 H18:- ⇒ H21:検討
<b>重点課題4 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信</b>	
<b>施策1 観光魅力づくりの推進</b>	
<b>さっぽろ雪まつり魅力アップ事業</b> 観) 観光部 [112百万円]	さとらんど会場における市民参加のしくみづくりへの支援や、駐車場増設などおもてなし向上の取り組みの実施など ○参加団体数 H18:9団体 ⇒ H22:15団体 ○雪まつりの満足度 H18:57.7% ⇒ H22:70.0%
<b>藻岩山魅力アップ事業</b> 観) 観光部 [604百万円]	老朽化したロープウェイや展望台などの施設の再整備や、ソフト事業の展開によって藻岩山の魅力アップを推進 ○藻岩山の再整備 H18:- ⇒ H22:整備
<b>新たな秋のイベント事業</b> 観) 観光部 [149百万円]	大型イベントの少ない秋に、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとした新たな集客イベントを実施 ○観客数 H18:- ⇒ H22:80万人
<b>大通公園スケートリンク・スクエア事業</b> 観) 観光部 [160百万円]	かつて札幌の冬の風物詩であったスケートリンクを大通公園西1丁目に設置し、気軽なスケート体験の機会を提供 ○利用者数 H18:- ⇒ H22:1万人

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
<b>北緯43° 花香る北の街 づくり事業【再掲】</b>  環) みどりの推進部 建) 管理部 [200百万円]	地域が主体となって管理する花壇づくりの推進や、市民自ら花苗を育成して植栽する取り組みへの支援  ○コミュニティガーデン設置数(累計) H18: - ⇒ H22: 30カ所 ○花を活用した管理を行う道路残地箇所数(累計) H18: - ⇒ H22: 10カ所
<b>施策2 観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進</b>	
<b>観光都市さっぽろ推進 事業</b>  観) 観光部 [150百万円]	国内外の個人客への対応充実や、札幌の魅力発掘・発信など、まち全体の魅力を高め、来客者の増加を目指す事業を展開  ○外国人観光客のリピーター率 H18: 25.4% ⇒ H22: 30% ○札幌観光の満足度(おもてなし) H18: 69.5% ⇒ H22: 75% ○コンベンションの開催件数 H18: 911件 ⇒ H22: 1,050件
<b>首都圏シティPR事業</b>  総) 東京事務所 [92百万円]	首都圏において、広告メディアや集客イベントで札幌の魅力を発信し、観光客やコンベンションの誘致を実施  ○観光集客イベントの集客人数 H18: 7.1万人 ⇒ H22: 7.5万人 ○コンベンション開催団体への訪問回数 H18: 501件 ⇒ H22: 620件
<b>ターゲット別国内観光 プロモーション事業</b>  観) 観光部 [36百万円]	旅行会社、首都圏・関西圏の一般市民など対象別に、説明会やプロモーション、旅行商品開発支援など誘致宣伝活動を実施  ○道外観光客の来客数 H18: 6,398千人 ⇒ H22: 6,791千人 ○スイーツを楽しみにした観光客の増加 H18: 24.2% ⇒ H22: 35%
<b>国際観光誘致事業</b>  観) 観光部 [44百万円]	東アジアやオセアニアなどを対象として、メディアを活用したイメージ発信や旅行商品開発支援などの誘致宣伝を実施  ○外国人延べ宿泊者数 H18: 559,272人 ⇒ H22: 70万人
<b>国際園芸博覧会構想の 検討【再掲】</b>  市) 企画部 [12百万円]	国際園芸博覧会開催について基礎調査を実施し、市民意向を把握の上、開催誘致の是非を決定  ○開催誘致の是非決定 H18: - ⇒ H20: 決定
<b>施策3 道内各市町村と連携した魅力の発信</b>	
<b>都心部における北海道 の魅力発信事業【再掲】</b>  市) 企画部 [65百万円]	道内各市町村との連携による食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行う拠点を都心部に整備  ○来場者数 H18: - ⇒ H22: 10万人 ○道内各地域からの出展者数 H18: - ⇒ H22: 50件
<b>新たな秋のイベント事業 【再掲】</b>  観) 観光部 [149百万円]	大型イベントの少ない秋に、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとした新たな集客イベントを実施  ○観客数 H18: - ⇒ H22: 80万人
<b>(仮称)札幌広域ドライブ ルートマップ作成事業</b>  観) 観光部 [12百万円]	札幌を基点とした車での日帰り圏内のドライブルートマップを作成配布し、ホームページで情報を発信  ○参画施設の入場者数の伸び率 H18: - ⇒ H22: 1.5%アップ